

モニターレポート(11月報告)

【報告内容①】

いよいよ冬も本番となってまいりました。降り積もった雪で川岸がわからず、川に落ちてしまうような事故や、雪どけ水で水かさが増し、川の流が急になり起こってしまう事故などに注意し、ちょっとした変化に気づいた事があれば引き続きお伝えしていきたいと思ひます。

〈事務所からのコメント〉

12月に入った途端に雪が降り積もり、本格的な冬が到来しました。阿賀野川はすっかり冬景色になり、公園利用者や生産活動も減って、少し寂しい風景になります。

阿賀野川の堤防道路では、毎年、車の転落事故が発生しております。特に圧雪時はハンドルがとられやすくなったり、吹雪になると、道路と堤防の境目が分からなくなったりしますので、気をつけて運転していただきたいと思ひます。また、河川に積もった雪の下には危険な箇所が隠れていることもありますので、十分気をつけて観察してください。

【報告内容②】

11月10日、鮭漁も終わりに近づいてきました。満願寺床固めの川岸に打ち捨てられた漁網が公害にならないことを願ひます。

〈事務所からのコメント〉

阿賀野川では至る所で鮭が遡上している姿が見られます。自然の姿が多く見られ、とてもよい環境といえます。これらの自然環境は今後も大事にしていきたいと思ひています。

床固め公園の状況についてご報告いただきましたが、その状況につきましては、占有者である新潟市と、漁業協同組合にも話をいたします。

※複数のモニター報告を要約してあります。

【報告内容③】

「第27回五泉市さといもまつり」

自家用車で会場に向かい、駐車場が400台ということで、そんなに大きなまつりではなく、五泉の地元の皆さんが少々集まる程度だろうと思っていましたが、全く違いました。1200人の枠は完売、完全に出遅れていました。どこからこんなに集まってきたのか不思議なくらいです。このまま何もしないで待つのはもったいないので、私はできませんが、他の人のさといも掘りの様子を近くで見ることにしました。その後、大いも煮会ということで、さといも汁と新米のおにぎりを購入しました。今回のまつりは河川とは直接的には関連がないかもしれませんが、市民が楽しめるイベント会場として河川敷をうまく利用している一例だと思えます。

〈事務所からのコメント〉

五泉市では特産農産物「さといも帛乙女」を町ぐるみで盛り上げようと、10月第2日曜日を「さといもの日」と制定し、毎年さといもまつりを行っています。とても人気のあるイベントで、ご報告いただいたように受付開始から間もなく1200人の定員に達してしまうそうです。今年は天候にも恵まれ、秋空の下でのさといも汁とおにぎりの味は格別だったことと思えます。

【報告内容④】

水ヶ曾根地区、水辺プラザではきのこ採りが数名見られました。この場所は10月には鳥の調査の人達でにぎわっていましたが、11月には犬を連れた鉄砲打ちを数名発見、畑仕事をしている人もすぐ近くに見えて心配です。

渡場地区、安田橋運動公園を歩いてみると、空き缶、ビニール等あったので、拾って歩きました。

〈事務所からのコメント〉

季節は冬に移り変わり、冬の象徴である白鳥も多く見られるようになりました。

11月15日より狩猟が解禁になりました。河川敷内にも狩猟の方がおられます。河川敷内には藪で見えにくい場所もあり、事故のないよう注意していただきたいと思えます。

ゴミの不法投棄は後を絶ちませんが、当方としても不法ゴミの回収や看板の設置等の対応を行っており、今後も対応していきます。

※複数のモニター報告を要約してあります。